

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	おかだ としき	
氏名	岡田 俊樹	
所属・役職	愛知県豊田市上下水道局上下水企画課 主幹	
活動拠点	全国どこでも	
略歴	1990 年 (H02) 4 月：愛知県豊田市役所入庁 ①理財部資産税課(土地評価) 1996 年 (H08) 4 月：②社会部高岡支所(窓口全般) 1999 年 (H11) 4 月：③水道局料金課(滞納整理・合併事務) 2006 年 (H18) 4 月：④社会部防災防犯課(災対本部事務) 2008 年 (H20) 4 月：⑤福祉保健部医療保険年金課(国保特会管理) 2012 年 (H24) 4 月：⑥総務部庶務課(文書、旅費、車両管理) 2016 年 (H28) 4 月：⑦上下水道局水道維持課(維持管理・AI 活用・実証実験) 2023 年 (R05) 4 月：⑧上下水道局上下水企画課(DX 推進)	
地域情報化の 専門分野・技術	・ 業務改善を目的とした各種システム開発・運用 ・ 窓口改善 ・ GIS(地理空間情報システム)の活用 ・ 課題解決に向けたコストゼロ実証実験の推進 ・ 衛星画像、AI を活用した業務改善 ・ DX 人材育成	
専門分野	オープンデータ 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 防災 スタートアップ支援（起業支援）	
自治体向けメッセージ	社会情勢の著しい変化による業務の増大、人口減少による収税減、職員の高齢化及び減員など、職員の取り巻く環境は今後ますます厳しくなります。それに対応するためには、業務改善が必須です。 多くのシステム開発、最新技術の導入（衛星画像、A I）を通じて、業務のムリ、ムダ、ムラを見つけ、効率化してきました。業務の効率化は市民サービスの向上にも直結しますので、ぜひ、一緒に、業務の効率化を実現しませんか？	

関連サイト	○第4回 Digi 田甲子園ベストフォー https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/koshien/kekka/2024/index.html ○Digi 田甲子園 2023 内閣総理大臣賞 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/koshien/kekka/2023/index.html ○地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード 2023 https://www.holg.jp/award/2023-04/ ○令和4年度優良地方公営企業総務大臣表彰 https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01zaisei06_02000276.html ○土木学会（衛星によるインフラマネジメントシンポジウム） https://committees.jsce.or.jp/struct1003/node/10 ○令和3年度水道イノベーション賞 http://www.jwwa.or.jp/info/pdf/innovation/innovation_r3_apply.pdf ○水道研究発表会 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jwwaproc/2020/0/2020_692/_article/-char/ja/ ○豊田市の情報公開と行政文書の管理 https://www.archives.go.jp/publication/archives/wp-content/uploads/2015/03/acv_51_p22.pdf
地域情報化に関する実績	※当市では、職員でシステム開発を行っています。そのため、システムにも詳しく、業務改善を行いつつ、システムに反映させています。 ①資産税課(土地評価) ・現地調査期間の短縮するため、GISを活用したシステム開発の補助を行いました。 ・職員の土地評価基準を平準化するため、土地課税マニュアルの全面リニューアルを行いました。 ②高岡支所(窓口全般) ・市民の記載への負担を少しでも軽減するため、住民票、印鑑証明、戸籍の各申請書の一元化を行いました。 ③料金課(滞納整理・合併事務) ・すべての事務を効率化するため、水道オンラインシステムをリプレイスしました。 ・職員の事務負担の軽減及び収納率の向上のため、窓口及び滞納整理業務等の既存事務のBPRを実施後、民間企業へ外部委託を行いました。 ・市民の水道料金の納付機会の拡大、利便性の向上を目的に、コンビニ収納システムを構築しました。 ・合併事務では、合併後の円滑なシステム運営を行うため、6町村のシステム調査、各ベンダーとの調整、町村データ整備、データ移行、検証テストなどを行いました。 ④防災防犯課(災対本部事務) ・被害情報、避難所情報、通行止め情報等の一元管理と意思決定の補助（GISとの連携）を目的に、災害情報支援システムを構築しました。 ・市民へ地震情報、台風情報を迅速に届けるため、メール配信システム「緊急メールとよた」を導入、運用しました。 ・避難場所運営班が円滑に運営できるよう、市内114か所の避難場所における資機材の保管場所等をデータ化しました。

地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	⑤医療保険年金課(国保特会管理) ・慢性的な時間外勤務時間を削減するため、今まで職員で対応していた窓口業務の一部のＢＰＲを実施後、派遣社員に入替え、システム開発に人員（職員）を充てることで、年間 7,000 時間の時間外を半減させました。 ⑥総務部庶務課(文書、旅費、車両管理) ・多岐にわたる事務を効率するため、各種システム（文書、旅費、車両管理）の改修を行いました。 ・郵便料金を削減するため、郵便管理システムを開発しました。 ・公用車の効率的な管理と事務処理の軽減を目的に、公用車のリース化を行いました。（３５０台） ・切手類を効率的に管理するため、各課で管理していた切手類を庶務課に集約し、一元管理を行いました。 ・複合機の維持管理費用を削減するため、一括発注を行いました。 ⑦水道維持課(維持管理・AI 活用・実証実験) ・全国的な課題である、水道管路更新費用の増大、職員の減員及び高齢化に対応するため、以下の技術を導入しました。 →「ＡＩを活用した水道管劣化予測診断ツール」 →「衛星画像を活用した漏水検知技術」 ・市の費用負担ゼロで実証実験を行いました。 →「衛星画像解析による漏水リスク評価」（相手方特許取得済） →「ドローンを活用した水管橋の点検」 →「水道使用量を活用した空き家予測」（相手方特許取得済） →「減圧弁遠隔監視」（相手方特許取得済） ・職員の事務負担軽減のため、各種システム開発を行いました。 →県道占用管理システム →工事情報管理システム →事前協議システム →上下水道危機管理システム →修繕管理システム ⑧上下水企画課(DX 推進) ・「来させない窓口」を実現するため、上下水道管のWEB閲覧システムを構築しました。 ・全国で初めて、水道管凍結注意マップを作成しました。 ・凍結注意の注意喚起チラシを日本損害保険協会中部支部と連携してコストゼロで作成、配布しました。 ※受賞歴 2021(R03)年度：水道イノベーション賞特別賞 2022(R04)年度：優良地方公営企業総務大臣表彰 2023(R05)年度：すごい！地方公務員アワード受賞 2023(R05)年度：Digi 田甲子園 2023 内閣総理大臣賞 2024(R06)年度：第４回 Digi 田甲子園ベストフォー
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	なし